

P連だより

2024
3/1
第47号

発行人 山越 智行
編集 情報委員会
発行日
令和6年3月1日

PTA研修会

これまで、事業部では毎年PTAレクリエーション大会でソフトラレーボール大会を行っていました。コロナ禍の影響もあり、レクリエーション大会が実施できないため、本年度は、新たにキャリア教育について動画を作成し、PTA会員の皆様に研修していただくことにしました。いろいろな職種の方に、現在の職業に就くきっかけや、現在のお仕事をされていて気を付けているコミュニケーション能力・チームワーク・リーダーシップの取り方や自己理解・自己管理能力、課題対応力、キャリアプランニング能力などの様々な意見をお聞きしました。動画は令和6年4月30日(火)までご覧いただけますので、ぜひお子様とともに観ていただいて、この様な考え方を参考に、色々とトライしていただきたいと考えております。



▲撮影の様子



動画はこちらから
ご覧いただけます



佐野市教育委員会
教育長
津布久 貞夫 様



手打ちラーメン茶焔那
店 長
齊藤 大輔 様



佐野市消防本部
佐野東消防署員
片柳 智行 様



熊倉建築設計
事務所
熊倉 ナオキ 様



あきさく歯科クリニック
医院長
秋草 雅宏 様



ナカダのパン
店 長
渡辺 和雄 様

PTA会長研修会

第3回

の長さや業務の多さ、部活動における問題点など現場の声を聞かせていただきました。ニュースなどでも報道されているようなことが現実には起きている。毎日起きるであろう学校生活の問題に対するストレスも重なり、本当に「過酷な職場」だと感じました。

「学校の働き方改革」は国だけでなく、佐野市としても取り組みをされているとのこと。他の市に先駆けての中学校の部活動を総合型地域スポーツクラブとの連携。スクールサポートスタッフの導入。学校運営の在り方とT（先生）をP（保護者）が地域とともにサポートしていく新しい体制が求められているのではと感じました。また今の子どもたちが、将来学校の先生になりたいと思ってもらえるようなといいなと思いました。

最後に、私たち親が手の行き届かないところまで子どもたちをサポートして下さり、本当にありがとうございます！



第2回

第2回PTA会長研修会が9月6日（水）勤労者会館で行われました。

講師にNPO法人ちもり代表の菅圭先生をお招きして「子供のためにできること〜キャリア教育の視点から〜」の講話をしていただき、その後「子ども」の非認知能力を育むために、何ができるのか」のグループディスカッションをし、グループごとに発表をしました。

発表では、「子供を褒めてあげよう」「家族以外の関係が大切」「夢に向かって話してみよう」など色々な意見が出ました。

講話では出席者に問いかけるようなお話で親として考えさせられる講話でした。

子どもと接する↓親の成長↓子供の成長
親の背中を見て子供は育つのだと改めて考えさせられました。



2/
11(日)

令和5年度

佐野市小中義務教育学校PTA連絡協議会「教育フォーラム」
及び 三行詩表彰式開催

場所：佐野市文化会館大ホール

より多様化・複雑化している現代社会を生き抜くための軸となる考え方
～子育てに活かす効果的な「七つの習慣」～

〈講師〉竹村 富士徳 先生



2月11日(日)に佐野市文化会館大ホールにて、教育フォーラム及び三行詩表彰式を開催させていただきました。

まず、三行詩の募集は、日本PTA全国協議会の主催で行われているもので、市P連では、「家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずな・家庭のルール」、「早起き朝ごはん」といった、子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、家族で話し合い一緒に取り組むことを社会全体に呼びかけていくという趣旨に賛同し、作品の募集を行っております。

三行詩表彰式では、「小学生の部」「中学生の部」「一般の部」に入賞された皆様をお招きし、作品の展示・発表及び、表彰状をお渡しさせていただきました。多くのご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

また、教育フォーラムでは、講師に、フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社取締役副社長竹村富士徳様をお招きし、「より多様化・複雑化している現代社会を生き抜くための軸となる考え方」子育てに活かす効果的な「七つの習慣」をテーマに、ご講演をいただきました。

講演の冒頭から会場全体が先生のお話にひきこま



をおりこんでいただき、常に会場が一体となって、楽しく学ぶことができましたかと思っております。講演を聞かせていただき、より多様化していく現代社会を生き抜く為にも、まずは、私自身学び続け、これからの社会状況に対応できる、スキルとマインド、勇気と思いやりを持ち、実践する重要性を学ぶ事ができました。

最後になりますが、当日は多くの皆様にご来場いただきました。ありがとうございます。また、事前の準備及び設営、そして開催まで、多くの皆様のご協力をいただき、無事に開催できましたことを、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



ました。「七つの習慣」は「依存」→「自立」→「相互依存」のプロセスを経ながら、第1～第7までの習慣を適切な順序で学び、実践することで、自らの成長につながることを、分かりやすく教えていただきました。クイズやワークショップ

下記QRコードから
当日の教育フォーラムを
ご視聴いただけます。



他のPTA会員の皆様にもお知らせいただき、多くの皆様にご視聴いただきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

教育フォーラムに参加してきました。タイトルからとても難しそうなお話だと感じ身構えておりましたが、聞きやすいお声と親しみやすい話し方に聞き入っていました。

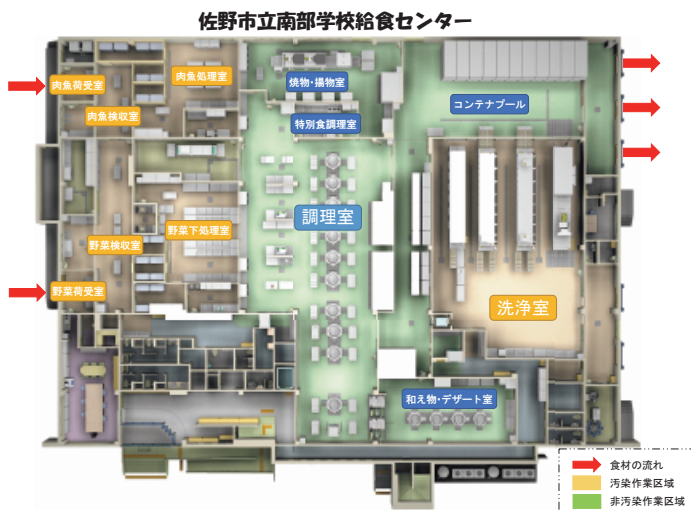
途中、周りの人と話す時間もあり、クイズに答えたり感想を言ったりと飽きるところが本場に時間が短く感じられました。「七つの習慣」という言葉はどこかで聞いたことはありましたが、実際に本を読んだり話を聞いたのは初めてでした。これからの子育てだけでなく、夫婦関係や職場、あらゆる場面で役に立つお話だったと思いました。

今回のフォーラムに参加して、最優先事項を見極め、win-winの関係を保てるようにしていけたらと感じ、これからそつでできるような心がけようと思いました。

竹村先生、有意義な時間をありがとうございました。

感想

教育フォーラムに参加して



南部給食センター取材報告

生活安全委員会では、毎年給食センターのご協力のもと100人規模で給食試食会を開催していましたが、近年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく見送っております。このような状況から当委員会では、給食センターの取り組みなどを保護者の皆様に広く知っていただけるような機会を設けたいと考え、今年度は南部学校給食センターにご協力いただき、センターを取材させていただきました。

10月18日（木）に、生活安全委員3名、情報委員1名、事務局1名の計5名で体調管理を徹底したうえで取材させていただきました。

現在、佐野市の学校給食は南部学校給食センターでは市内11校約4,800人分、北部学校給食センターでは13校約3,900人分の給食を作っています。取材させていただいた日は、約1,000人分の調理ができる大きな釜で野菜スープを作っており、その釜の中の具材を重くて大きなヘラで混ぜ合わせていました。

安全と衛生面ですが、センター内は清潔が保たれており、床は常に乾いた状態で、雑菌の繁殖を防いでいます。コンテナや食缶、食器などは、洗浄、消毒が徹底されています。食材は、肉と野菜の搬入口が分かれており、処理工程でその経路が交わることはありません。アレルギー対応食も、一般の工程からは仕切られた部屋で作業が行われています。

文部科学省の学校給食衛生管理基準に則って調理を行い、作られた給食はセンター長や学校長等が調理過程において加熱が適切か、異味、異臭その他の異常がないかなどを行う検食を実施



ブロッコリーサラダ

- ・ブロッコリー……………28g
 - ・カリフラワー……………13g
 - ・ハム(角切り)……………6g
 - ・コーン缶……………6g
 - ・焙煎胡麻ドレッシング……7.5g
- (スーパーで市販されているものでOK)



改めまして、南部学校給食センターの皆様、お忙しい中取材を受けていただきありがとうございました。そして、安全安心で美味しい給食を子どもたちに届けていただき、ありがとうございます。

また、平成24年9月より食材に含まれる放射性物質の濃度を測定しており、結果は佐野市のホームページで公表されています。

そして、給食といえば子どもたちの健やかな成長に欠かせないバランスの取れたメニューです。月に一度、献立作成会議が行われています。決められた予算の中で、栄養バランスを考えつつ、食材や調理方法、味付けなど同じものが連続しないように工夫されています。この度、人気のブロッコリーサラダのレシピをご提供いただきまして、ぜひ、ご家族皆さんで召し上がっていただきたいと思っています。



施した後に、子どもたちの口に入ります。

また、平成24年9月より食材に含まれる放射性物質の濃度を測定しており、結果は佐野市のホームページで公表されています。

そして、給食といえば子どもたちの健やかな成長に欠かせないバ

令和5年度 委員会報告

生活安全委員会

生活安全委員会では、第二回PTA会長研修会と給食センター視察を担当しました。研修会ではNPO法人ちもり代表の菅圭先生による「子どものためにできること」～キャリア教育の視点から～と題した講演会を開催しました。キャリア教育という概念の基本的考察、非認知能力育成のためのディスカッションを通じて、保護者として新たな学びが沢山ありました。

給食センター視察は情報委員会と協力して行い、南部給食センターを訪問取材させていただきました。本誌にて詳しい記事が掲載されていますので是非ご覧下さい。

市P連の活動に携わることができ大変有意義な経験をさせていただきました。生活安全委員会の委員をはじめ、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



山田生活安全委員長

総務委員会

総務委員会では「三行詩」並びに「教育フォーラム」の担当として活動を行わせていただきました。

「三行詩」では、審査会及び教育フォーラム内で表彰式を行い、また「教育フォーラム」では、講師選定及び運営などを協議し、令和6年2月11日(日)に佐野市文化会館大ホールにて、教育フォーラムを開催させていただきました。

今年度はオンラインではなく、現地開催とさせていただきました。また同時に、講演の動画を、期間限定で配信をさせていただきました。久しぶりの現地開催となりましたが、今までの開催方法を参考にさせていただきながら、皆様のご協力のもと、無事に開催することが出来ました。

開催にあたり、総務委員会の皆様をはじめ、多くの皆様にご協力をお願いいただき感謝申し上げます。

また、一年間、様々な活動に携わることができ、貴重な経験をさせていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



北岡総務委員長

情報委員会

情報委員会では今年度、対面の会議は顔合わせのみ、その他の会議は、ラインでグループを作り、情報委員会の名にふさわしくオンラインで行い、年2回のP連だよりを発行させていただきました。記事の内容と致しましては、学校紹介、PTA会長研修会の報告、三行詩の入選作品の紹介、教育フォーラムや給食センター視察など、市P連の活動等を皆様にご理解していただくために、発行してまいりました。

発行するにあたり、市P連の役員の皆様、事務局、やじま印刷様には大変お世話になりました。市P連の活動に携わること、貴重な体験と素晴らしい仲間が出来たことに感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



書上情報委員長

事業委員会

事業委員会は、本来であればPTA会員の親睦と健康増進を目的に、佐野市内の小中義務教育学校のPTAを対象に開催していますソフトバレーボール大会を準備するという大役がありましたが、見えない敵の新型コロナウイルスやインフルエンザ感染予防の観点から中止が早々と決定されました。

そこで、与えられた仕事は佐野市が勧めている「キャリア教育」について映像化するという、正直言って難題が与えられました。

しかしながら、初めての試みとしては色々な方々の協力でも素晴らしい映像が出来たと思います。6名の出演者の皆様にも多岐にわたるご意見を丁寧に説明していただき感謝申し上げます。そして、親子でYouTubeを見ていただき「キャリア教育」について考えていただければ幸いです。

出演者様はもとより、計画・撮影の準備にご尽力をいただいた委員の皆様、事務局の皆様にご感謝申し上げます。



松崎事業委員長

会長あいさつ

佐野市小中義務教育学校
PTA連絡協議会

会長

山越 智行



PTA会員の皆様方におかれましては、日頃より市P連の活動に対しご理解とご協力いただき、誠に有難うございます。おかげさまで、誠に有難うございます。滞りなく本年度の事業を進めることが出来ました。重ねて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が五類に分類されたとは言え、各単Pにおかれましても様子をうかがいながらのPTA活動であったと思います。市P連の事業に於いても、教育フォーラムを三年ぶりに対面で開催しました。また、レクリエーション大会を配信による事業に変更するなど、手探りではありましたが新たな事業にも挑戦いたしました。市P連として今出来る事は何かを考えながらの一年でした。

来年度、市P連は二十年目という節目の年を迎えます。より一層の活動をして参りますので、今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い致します。